

新潟大学コア・ステーション

自然科学系附置 形の科学研究センター

平成25（2013）年度研究業績

受賞

1. Ishida, N., Kishimoto, N., Matsuoka, A., Kimoto, K., Kurihara, T., Yoshino, T., Outstanding Poster Presentation(第9回国際ジュラ系会議ポスター賞) :Microfossil research using 3D imaging technology: an experimental study of Jurassic radiolarians using X-ray micro-computed tomography. The 9th International Congress on the Jurassic System, Jaipur, India, 2014.1.7, Poster. Abstracts, p.81-82.

学協会誌等

(1) 原著

1. Gorican, S., Carter, E.S., Guex, J., O'Dogherty, L., De Wever, P., Dumitrica, P., Hori, R.S., Matsuoka, A., Whalen, P.A. Evolutionary patterns and palaeobiogeography of Pliensbachian and Toarcian (Early Jurassic) Radiolaria. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, 386, 620-636, 2013.
2. Ito, T., Zhang, L., Feng, Q., Matsuoka, A., Guadalupian (Middle Permian) Radiolarian and Sponge Spicule Faunas from the Bancheng Formation of the Qinzhou Allochthon, South China. *Journal of Earth Science*, 24, 145-156, 2013.
3. Ito, T., Sakai, Y., Ibaraki, Y., Matsuoka, A., Middle Jurassic radiolarians from a siliceous mudstone clast within conglomerate of the Tetori Group in the Itoigawa area, Niigata Prefecture, central Japan. *Science Reports of Niigata University, Series E (Geology)*, 29, -, 2014.
4. Sakai, Y., Ito, T., Ibaraki, Y., Matsuoka, A., Plant fossils from the Mizukamidani Formation of the Tetori Group in the Itoigawa area, Niigata Prefecture, Japan. *Science Reports of Niigata University, Series E (Geology)*, 29, -, 2014.

学会発表等

(1) 国際学会

1. Ishida, N., Kishimoto, N., Matsuoka, A., Kimoto, K., Kurihara, T., Yoshino, T., Microfossil research using 3D imaging technology: an experimental study of radiolarians using X-ray micro-computed tomography. The 3rd International Congress On Natural Sciences, Niigata, Japan, October 13, 2013.
2. Uchiyama, M., Matsuoka, A., Late Jurassic radiolarian fossils from a siliceous mudstone in the Niekawa-Kisohirasawa area, Nagano Prefecture, Central Japan. The 3rd International Congress On Natural Sciences, Niigata, Japan, October 13, 2013.
3. Ishida, N., Kishimoto, N., Matsuoka, A., Kimoto, K., Kurihara, T., Yoshino, T., Microfossil research using 3D imaging technology: an experimental study of Jurassic radiolarians using X-ray micro-computed tomography. The 9th International Congress on the Jurassic System, Jaipur, India, January 7, 2014.
4. Matsuoka, A., Recent progress in ecological studies on living radiolarians and its application to Jurassic ecosystem – End-Triassic mass extinction and early Jurassic recovery in the pelagic realm. The 9th International Congress on the Jurassic System, Jaipur, India, January 7, 2014.

(2) 国内学会

1. 北川祐介・松岡 篤, 岐阜県美濃一関地域における美濃帯 - 上麻生ユニットの地質と放散虫年代, 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 2013 年 5 月 19 日.
2. 松岡 篤・セイエド・ハミド・バジリ, イラン西部・ケルマンシャ地域における遠洋性堆積物の中生代放散虫層序, Mesozoic radiolarian biostratigraphy in pelagic sediments in the Kermanshah area, west Iran. 日本地球惑星科学連合 2013 年大会, 幕張メッセ国際会議場, 2013 年 5 月 19 日.
3. 吉野 隆・岸本直子・石田直人・松岡 篤・栗原敏之・木元克典, 球形放散虫の 3 次元データから殻孔数を自動判別する試み, 形の科学会第 75 回シンポジウム, 糸魚川市フォッサマグナミュージアム, 2013 年 6 月 21 日.
4. 植原和樹・松岡 篤, アンモナイトと底生有孔虫の殻形態の比較, 形の科学会第 75 回シンポジウム, 糸魚川市フォッサマグナミュージアム, 2013 年 6 月 22 日.

5. 石田直人・岸本直子・松岡 篤・木元克典・栗原敏之・吉野 隆, 3D イメージング技術によるプランクトン殻の微細構造, 形の科学会第 75 回シンポジウム, 糸魚川市フォッサマグナミュージアム, 2013 年 6 月 22 日.
6. 大河内春香・松岡 篤, 糸魚川ジオパークの認知度アンケートから見える糸魚川のイメージ, 形の科学会第 75 回シンポジウム, 糸魚川市フォッサマグナミュージアム, 2013 年 6 月 22 日
7. 松岡 篤, ジオパーク普及のための”形”の活用ー見立ての効用, 形の科学会第 75 回シンポジウム, 糸魚川市フォッサマグナミュージアム, 2013 年 6 月 23 日.
8. 松岡 篤・Vaziri, S.H., イラン西部ケルマンシャ地域ビセトゥンセクションのジュラ系放散虫化石層序, 日本古生物学会 2013 年年会, 熊本大学, 2013 年 6 月 30 日.
9. 石田直人・岸本直子・松岡 篤・栗原敏之・木元克典・吉野 隆・松浦 執, 3D イメージング技術による放散虫研究, 日本古生物学会 2013 年年会, 熊本大学, 2013 年 6 月 29 日.
10. 酒井佑輔・関戸信次・松岡 篤, 白山区の手取川流域および石徹白川流域における手取層群の白亜紀前期系植物相, 日本古生物学会 2013 年年会, 熊本大学, 2013 年 6 月 29 日.
11. 石田直人・岸本直子・松岡 篤・栗原敏之・木元克典・吉野 隆, 3D イメージング技術による放散虫研究の現状, 日本地質学会第 120 年学術大会, 東北大学, 2013 年 9 月 16 日.
12. 松岡 篤・Vaziri, S.H., イラン西部ケルマンシャ地域の中生代珪質岩とその放散虫年代, 日本地質学会第 120 年学術大会, 東北大学, 2013 年 9 月 16 日.
13. 内山雅貴・松岡 篤, 長野県塩尻市贅川一木曾平沢地域の珪質泥岩から産出した放散虫化石, 日本地質学会第 120 年学術大会, 東北大学, 2013 年 9 月 16 日.
14. 酒井佑輔・関戸信次・松岡 篤, 白山区の手取川および滝波川流域における手取層群の白亜紀前期植生変遷史, 日本地質学会第 120 年学術大会, 東北大学, 2013 年 9 月 16 日.
15. 北川祐介・松岡 篤, 岐阜県美濃 - 関地域における美濃帯上麻生ユニットのサブユニット区分, 日本地質学会第 120 年学術大会, 東北大学, 2013 年 9 月 16 日.
16. 伊藤 剛・酒井佑輔・Feng, Q.・松岡 篤, 福井県九頭竜地域の手取層群石徹白亜層群の珪質岩礫より産出した中生代放散虫化石, 日本地質学会第 120 年学術大会, 東北大学, 2013 年 9 月 16 日.
17. 酒井佑輔・北川祐介・植原和樹・高城 俊・茨木洋介・松岡 篤, 新潟県糸魚川市境川右岸に露出する手取層群水上谷層より産出した動植物化石ー糸魚川の中生界研究 2ー, 日本地質学会第 120 年学術大会, 東北大学, 2013 年 9 月 16 日.
18. 大河内春香・松岡 篤, 大学生に対する糸魚川ジオパーク認知度アンケートの結果とその利用法, 日本地質学会第 120 年学術大会, 東北大学, 2013 年 9 月 15 日.
19. 吉野 隆・松岡 篤, 球面上のチューリング・パターンの基本的な構造, 形の科学会第 76 回シンポジウム., 青山学院大学, 2013 年 11 月 16 日.
20. 松岡 篤・吉野 隆・岸本直子・石田直人・栗原敏之・木元克典, チューリング・パターンと中生代放散虫 *Pantanellium* の殻形成, 形の科学会第 76 回シンポジウム., 青山学院大学, 2013 年 11 月 16 日.

21. 松岡 篤・吉野 隆・岸本直子・石田直人・栗原敏之・木元克典, チューリングモデルと放散虫の殻形成—中生代スプレリア *Pantanellium* を例として, 日本古生物学会第 163 回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 2014 年 1 月 25 日.
22. 伊藤 剛・Feng, Q.・松岡 篤, ペルム紀中世放散虫 *Pantanellium* の short form とその起源, 日本古生物学会第 163 回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 2014 年 1 月 25 日.
23. 酒井佑輔・関戸信次・松岡 篤, 白山区の下部白亜系手取層群より産出する *Zamites* を含む植物化石群集, 日本古生物学会第 163 回例会, 兵庫県立人と自然の博物館, 2014 年 1 月 25 日.